

## 安全データシート

改訂日：2025 年 10 月 22 日

作成日：2017 年 9 月 1 日

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：SR テックス  
供給者の会社名称、住所及び電話番号：静岡瀝青工業株式会社  
静岡県焼津市高新田 810 番地 TEL:054-622-1255  
供給者のファクシミリ番号又は電子メールアドレス：FAX：054-622-6457  
緊急連絡電話番号：TEL：054-622-1255／受付時間：月～金曜日 8:00-17:00  
推奨用途：土木建築関連の目地緩衝用ボード  
整理番号：D-G21-313502

## 2. 危険有害性の要約

本製品は混合固形物（板状）であり常温以外での使用、保管はないが含有するアスファルトについて常温時での危険有害性を明記する。

化学品の GHS 分類：分類できない  
物理化学的危険性：分類できない  
健康に対する有害性：区分に該当しない/分類できない  
環境に対する有害性：区分に該当しない/分類できない

## GHS ラベル要素

絵表示：製品に対しラベル表示なし  
注意喚起語：記載なし  
危険有害性情報：記載なし  
注意書き：記載なし  
国/地域情報：記載なし

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：改質石油アスファルト、木質繊維混合物  
化学名又は一般名：情報なし  
成分及び含有量：石油アスファルト、レジン、木質繊維

成分	含有量(%)	CAS 番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
石油アスファルト、レジン	35-45	8052-42-4 (石油アスファルト)	9-1720	12-189
木質繊維	55-65	—	—	—

## 4. 応急措置

吸入した場合：・ 被害者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静、保温する。速やかに医師の手当てを受ける。

- |           |   |
|-----------|---|
| 皮膚に付着した場合 | ・ 溶融したものが皮膚に付着した場合、多量の水で冷やし、皮膚への付着物は無理に剥がさないで、医師の手当てを受ける。 |
| 眼に入った場合   | ・ 直ちに流水で洗浄した後、眼科医の手当てを受ける。                                |
| 飲み込んだ場合   | ・ 無理に吐き出さずに、速やかに医師の診断を受ける。                                |

---

## 5. 火災時の措置

- |                       |                                 |
|-----------------------|---------------------------------|
| 適切な消火剤                | ・ 粉末、炭酸ガス、泡。                    |
| 使ってはならない消火剤           | ・ 棒上水は蒸気爆発を起こすおそれがあるため使用しないこと。  |
| 火災時の特有の危険有害性          | ・ 有用な情報なし。                      |
| 特有の消火方法               | ・ 初期の火災には粉末消火器、炭酸ガス消火器、乾燥砂を用いる。 |
|                       | ・ 大規模火災には、粉末、炭酸ガス、泡消火剤が有効である。   |
| 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 | ・ 消火作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用する。     |
|                       | ・ 自給式呼吸器及び完全防護服                 |

---

## 6. 漏出時の措置

- |                       |        |
|-----------------------|--------|
| 人体に対する注意事項，保護具及び緊急時措置 | ・ 該当なし |
| 環境に対する注意事項            | ・ 該当なし |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材       | ・ 該当なし |

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- |           |  |
|-----------|--|
| 取扱い       |  |
| 技術的対策     | ・ 有用な情報なし                                |
| 局所排気・全体換気 | ・ 粉じんを生じる切断加工の場合は通期の良い箇所で行うか、集じん装置を用いる。  |
| 安全取扱い注意事項 | ・ 切断加工時は必要に応じ保護めがねを着用する。                 |
| 接触回避      | ・ ハロゲン、強酸類、アルカリ類、酸化性物質、有機溶剤との接触を避ける。     |
| 保管        |  |
| 技術的対策     | ・ 有用な情報なし                                |
| 安全な保管条件   | ・ 局所的な熱の発生源を避けて保管する。                     |
|           | ・ 木質成分は吸水膨張を生じる事があるので、直接雨水に曝されないように保管する。 |
|           | ・ ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質、溶剤との接触を避ける。      |
| 安全な容器包装材料 | ・ なし                                     |

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

- |        |                    |
|--------|--------------------|
| 保護具    |                    |
| 呼吸用保護具 | ・ 必要に応じてマスク等を着用する。 |
| 手の保護具  | ・ 適当な手袋を着用すること。    |
| 眼の保護具  | ・ 状況に応じて保護眼鏡を着用する。 |

- |                       |   |
|-----------------------|---|
| 皮膚及び身体の保護具<br>特別な注意事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適当な保護衣等を着用する。</li> <li>・ 取扱い後は良く手を洗うこと。</li> </ul> |
|-----------------------|---|

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体
色	黒色
臭い	高温時には若干のアスファルト臭がある。
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	不燃性
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	≥280℃
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	水に不溶。芳香族系、アルコール系、ケトン系に可溶。
n-オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	0.37 (23℃)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

## 10. 安定性及び反応性

- |            |  |
|------------|--|
| 反応性        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 強酸化剤との接触を避ける。</li> </ul>                    |
| 化学的安定性     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通常の貯蔵・取扱いの条件においては安定である。</li> </ul>          |
| 危険有害反応可能性  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安定。</li> </ul>                              |
| 避けるべき条件    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加熱。</li> </ul>                              |
| 混触危険物質     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハロゲン、強酸性、アルカリ類、酸化性物質、溶剤との接触を避ける。</li> </ul> |
| 危険有害な分解生成物 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 火災時に加熱されると溶解・燃焼し、その蒸気は気管支を刺激する。</li> </ul>  |

## 11. 有害性情報

- |                  |  |
|------------------|--|
| 急性毒性             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報なし</li> </ul>   |
| 皮膚腐食性／皮膚刺激性      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報なし</li> </ul>   |
| 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加熱溶融されたアスファルトから発生するガスは、呼吸器系や目の粘膜を刺激する。</li> </ul>   |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報なし</li> </ul>   |
| 生殖細胞変異原性         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報なし</li> </ul>   |
| 発がん性             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アスファルトは加熱溶融時では、IARC グループ 2A(おそらく発がん性がある)または 2B (発がん性があるかもしれない) に分類され、区分 2 とされるが、常温時のアスファルトは分類できないとされている。</li> </ul> |

生殖毒性	・ 情報なし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	・ 情報なし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	・ 情報なし
誤えん有害性	・ 情報なし。

## 12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性(短期/急性)	有用な情報がないため「分類できない」
水生環境有害性(長期/慢性)	有用な情報がないため「分類できない」
残留性・分解性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製品中のアスファルトに関しては残留性</li> <li>・ 製品中のアスファルトの水生環境における生分解性の研究例は見当たらない。しかし、数百年にわたって道路舗装や屋根防水に利用してきた経験から、アスファルトは明らかにいつまでも持続する（分解しない）物質であり、生分解性がないことが特長でもある<sup>j)</sup>。</li> </ul>
生体蓄積性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製品中のアスファルトの構成成分の log Kow は 6 以上なので生体蓄積性があると判定されるが、実際には極めて水に難溶であり、このような高分子量の物質が水中成分の体内に取り込まれることは考えにくい<sup>j)</sup>。</li> </ul>
土壌中の移動性	・ 土壌中では移動性はない <sup>j)</sup> 。
オゾン層への有害性	分類の結果、オゾン層への有害性については「分類できない」

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業は器物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合は委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を依頼する。</li> </ul>
汚染容器及び包装	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的に本製品は包装および容器はない。</li> </ul>

## 14. 輸送上の注意

国内規制	
陸上	・ 消防法 指定可燃物（製品中のアスファルトが 3,000kg 以上）
海上	・ 船舶安全法 非危険物
航空	・ 航空法 非危険物
国際規制	
国連分類	・ 該当しない
国連番号	・ なし
追加の規制	・ 現在のところ有用な情報なし。
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取り扱いおよび保管上の注意の候の記載による他、輸送中の荷崩れによって他に危害、損害を及ぼす恐れのないように行う。</li> </ul>

## 15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

- 消防法
- ・ 製品中のアスファルトは、3,000kg 以上の場合、指定可燃物。

---

## 16. その他の情報

### 【引用文献】

- ・ GHS 対応の MSDS の書き方（社団法人 日本化学工業会）
- ・ GHS 対応ガイドライン 製品安全データシート作成指針（改定 2 版）（社団法人 日本化学工業会）
- ・ 産業衛生学雑誌（日本産業衛生学会）
- ・ GHS 分類結果データベース（独立行政法人 製品評価技術基盤機構）

安全データシート（SDS）は危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として取扱事業者提供されるものです。取扱事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

従って、本データシートそのものは安全の保証書ではありません。また本データシートは JIS Z 7252:2019 及び JIS Z 7253:2019 に沿って得られた情報を基に作成したものであり、その内容やデータについて弊社製品そのものを反映しているわけではなく、すべてを保証するものでもありません。各種法令改正や製品情報の改定により今後も内容が変更されますので、販売、流通事業者は取扱事業者に対し、常に最新の安全データシートを提供するようにお願いします。